卒論・大学院進学に向けて今、できること・・・

レポートや論文の書き方がいまいちわからない。

大学院って、どんなところ？

そんな悩みや疑問を抱える**学部生の皆さん**へ、
工学研究科大学院の**先輩からのメッセージ**を**3回**に渡ってお届けします。

院生の皆さんの声のなかにきっと**ヒント**があるはず。
ぜひ耳を傾けてみてください。

1. 学生生活編　2. レポート・論文編　3. プレゼン編

※文中のMは修士課程、Dは博士課程の意（例：M1＝修士1回生）

Q1　院に進学するまでに、専攻の知識の習得の他にもっと勉強しておけばよかったこと、身につけておけば良かったスキルなどはありますか？

- 語学力。 [地球系・M2]
- 文章をまとめる力。伝わりやすい日本語の書き方。 [電気系・M1]
- 英語力を高めることをしておけばよかったと考えます。研究室では英語論文を読むことが日常であるほか、外国の先生や先輩方と英語でディスカッションする機会もあるため、読む、話す、聞くというオールマイティな英語力が求められます。 [化学系・M1]
- 英語力とプログラミング能力があれば良かったなと思います。先行研究を読んで知識を取り込み、自分の成果を論文や学会発表という形で発信するという一連の流れの中で、英語をかなりの頻度で使用します。また、プログラミングの基礎的な素養があれば、シミュレーションを回したり、データ解析を自動化したりと、研究がもっとスムーズに進んだ場面が多くあったなと思います。 [電気系・D1]
- 海外での経験。レポート・論文の書き方。物理の基礎となる数学の諸概念についての理解。 [物理系・M2]
- 英語の中でも特に実用的な、Listening力とSpeaking力、PCに関する知識（情報処理の仕組みやPCの性能など）・プログラミング能力、留学生など外国人との交流機会（できれば海外での経験）、LaTeXでのレポート作成やPPT資料作りの練習・効率化、将来自分が心から携わりたい研究分野や仕事を絞るための調査や経験、筋トレ・体力向上のためのランニング。 [物理系・M2]
- 語学力と言語力（必要最低限の言葉で伝えたいことを誤解なく伝えるスキル）、文献管理ソフトや各種ショートカットなど、研究以外の時間を減らすツールの存在を知っておくこと（とにかく時間がないので）。 [化学系・M1]
- プログラミングやIT能力。 [建築系・M1]

ツールとしての英語力が必要になってくるんだね。
「Book Guide」（4ページ）で英語力習得に役立つ図書を紹介しているよ！

発　行：桂図書館｜工学北・工学南図書室
090stosho@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
発行日：2022年11月1日　更新日：2025年3月1日

本誌は桂図書館｜工学図書室ウェブサイト、「工学部生リテラシーとは？」ページからもご覧いただけます。

Q2 院生生活において、学部生時代と異なる点は？

- 大学院生にとって一番重要なことは、先輩や先生の論文の書き方や情報収集の方法を真似することだと思う。 [地球系・M2]
- 研究は時間的な終わりがない、時間の使い方が大事になる。 [電気系・M1]
- 自分次第なことが多くなったと感じます。研究だけでなく、授業、就活と様々なタスクをこなす必要がありますが、何をどのくらい行うかは自分で調整でき、何事も自分のペースで行うことができます。一方、ある程度の成果や進歩を生むことができるかどうかも、自分の頑張り次第であると感じます。 [化学系・M1]
- 授業を受けるだけでなく、研究という長い活動が始まる。短期的な目標と長期的な目標の両方を立てることが大切であると感じた。 [建築系・M1]
- 学部生時代と比べて、院生生活の方が時間のゆとりが少なく、まとまった時間を作りにくい点が、私にとっては一番大きいです（研究に加えて講義、さらには就職活動もあって、常に何かに追われています…）。 [電気系・D1]
- 時間の使い方や予定管理能力がより重要になる（いかに生活の中でメリハリをつけられるか、時間を創出できるか等）。 [物理系・M2]
- 日々の研究に加え、研究会・学会などでの資料作成・発表機会を複数回こなすための十分な体力と精神力が求められる。 [物理系・M2]
- 意欲的に研究と向き合い日々進捗を生むためには、自分の中での思考や取り組みを十分整理し、それらを先生など周囲へ発信してフィードバックをもらう必要がある。 [物理系・M2]
- 所属する研究室の一員として、研究室の活動を維持・向上させるために、先輩後輩と協力・分担しながら諸業務を行うことになる。 [物理系・M2]
- 無限に勉強できます。 [化学系・M1]
- 研究活動においては誰かから指示が与えられることはないので、自ら論文を読み、必要な勉強をし、研究テーマを模索しなければならない。学部生時代より主体性が求められる。 [物理系・M2]

Q3 院生生活や研究活動の情報収集として、よく見ているSNSのアカウントやWebサイトはありますか？

- 研究の勉強のためにQiitaというサイトを見ることが最近よくあります。
  https://qiita.com/ [化学系・M1]
- 日経クロステック。 [建築系・M1]
- Google Scholarや各論文誌のHP、専門性の高いニュースサイトから情報収集しています。Google Scholarでは、お気に入りの研究者が論文を投稿したら通知が来るように設定しています。 [電気系・D1]
- 近い分野の研究者のツイッター（現：X）はフォローしてそこから情報を得ている。 [物理系・M2]
- Twitter（現：X）で論文雑誌のアカウント（僕は化学系なのでJACSやNatureおよびその姉妹誌）をフォローしています。最近はTwitterさんも親切になってきて、自分がよく見るトピックのTweetをピックアップしてくれるので、気になったTweetについては論文や研究室ページまでさかのぼって調べています。 [化学系・M1]

Q4 そのほか、自分なりの情報収集のコツがありましたら教えてください！

- 他の大学や国の人が書いた卒業論文から情報を収集する。 [地球系・M2]
- 先生方や同じ分野の先輩とコミュニケーションをとる機会を多く持っておく。 [電気系・M1]
- 就活の情報収集にツイッター（現：X）を用いています。知り合いの学生と大学などで出会ったら専攻分野に関わらずその都度情報交換をする。 [物理系・M2]
- 研究室メンバーとのディスカッションを通して最近の他機関の報告を知ることが多いです。 [電気系・D1]
- 先輩方と意見交換する。 [建築系・M1]
- 一見別領域に思える他人の研究でも、何らかの気づきを得ようとするスタンスで臨み、役立ちそうな内容はメモを取り、自分の研究と少しでも接点がある場合はすぐに交流し知識を深めるようにしている。 [物理系・M2]
- 情報収集のコツではないかもしれないし、英語が苦手な僕の感想ですが、第一言語（僕なら日本語）の総説があるなら、それを優先的に読むようにしています。もちろん自分の研究にかなり近いものなら最先端の英語の論文を読むべきと思いますが、第一言語のものの方が圧倒的に早いし、きちんと読み切れるので。 [化学系・M1]

工学研究科における英語学習支援

工学研究科附属工学基盤教育研究センター（ERセンター）では、皆さんの英語学習をサポートするため、さまざまなプログラムを実施しています。今回はそのなかから「QUEST」をご紹介します。

英語のスキルを磨くために英会話学校に通ってみたいけれど、いろいろな教室があって迷ってしまう…。
そんなとき「京大生向け」の英会話クラス「QUEST」はいかがでしょうか。

➢ 概要	• 学外の英会話学校が京大生向けに開講する英語レッスン • 通常価格よりも低額の費用負担で受講が可能
➢ 対象	• 工学研究科 大学院生 • 工学部 2~4回生 • 情報学研究科 大学院生 • 理学研究科卓越大学院プログラム参加者
➢ 受付	毎年4月・9月（事前の説明会・体験会があります）
➢ 問い合わせ	附属工学基盤教育研究センター quest@t.kyoto-u.ac.jp
➢ ウェブサイト	QUEST http://www.erc.t.kyoto-u.ac.jp/quest

ERセンターには英語学習教材や共通型授業科目の参考文献の貸し出しもしています。
工学部・工学研究科の学生であれば自由に借りることができます。

Book Guide

これから学生生活を始める皆さんにおすすめの図書。
入門書としてぜひご活用ください。

図書はキャンパス間、桂⇆吉田で取り寄せできるよ。

大学生活のはじめ方

大学の歩き方・学問のはじめ方
新しい「自分」の可能性を見つけよう

大島寿美子 [ほか]
ミネルヴァ書房 , 2023.2

所蔵館：工北、附図

リサーチのはじめかた
「きみの問い」を見つけ、育て、伝える方法

トーマス・S・マラニー, クリストファー・レア
筑摩書房 , 2023.8

所蔵館：工北、附図、吉田南 ほか

英語力を身につけたい！

英語の思考法：話すための文法・文化レッスン（ちくま新書 1583）

井上逸兵
筑摩書房 , 2021.7

所蔵館：桂、附図、吉田南

シンプルな英語（講談社現代新書 2635）

中山裕木子
講談社 , 2021.9

所蔵館：桂、吉田南

日本語ネイティブが苦手な英語の音とリズムの聞き方がいちばんよくわかるリスニングの教科書

靜哲人
テイエス企画 , 2020.7

所蔵館：桂

技術系英文ライティング教本
基本・英文法・応用

中山裕木子
日本能率協会マネジメントセンター , 2024.3

所蔵館：桂、附図、吉田南

安心して情報に接する方法

サイバー社会の「悪」を考える
現代社会の罠とセキュリティ

坂井修一
東京大学出版会 , 2022.1

所蔵館：桂、附図、吉田南

Factfulness
10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣

ハンス・ロスリング, オーラ・ロスリング
アンナ・ロスリング・ロンランド
日経BP社 , 2019.1

所蔵館：桂、附図、吉田南 ほか

ChatGPTのしくみと技術がこれ1冊でしっかりわかる教科書（図解即戦力）

中谷秀洋
技術評論社 , 2024.10

所蔵館：工南、吉田南

データサイエンスの基本
この1冊ですべてわかる＝The basics of data science

滋賀大学データサイエンス学部編
日本実業出版社 , 2024.9

所蔵館：桂、附図

先輩からのおすすめ図書

桂図書館スタッフでもある工学研究科の大学院生が選ぶ
桂図書館おすすめ図書を𝕏（#KatsuraLibBooks）で定期的に発信中！